

## Kim 教授による韓国科学アカデミーの紹介（翻訳 流体研 阿部）

Korea Science Academy (KSA、韓国科学英才学校) は科学面に優れた才能を有する生徒のための高等学校です。教育は高校のカリキュラムと併せて、大学のカリキュラムも教育しています。

KSA では1年生全員に国際教育を行い、選別された3年生に対して国際交換プログラムを適用します。これと別に KSA には大学院教育に類似した Research and Education (R&E) プログラムがあります。R&E 教育は3~4人の生徒に対して KSA (または別の大学) の先生が1年間にわたって与えられたテーマの指導を行います。今回の東北大学での実習は R&E プログラムの一環として行われます。

KSA は釜山科学高校として発足し、2003年に科学面に優れた才能を有する生徒のための高等学校に改組されました。今年、KSA は海外研修として米国、ロシア、オーストラリアに生徒を留学させており、今回、東北大を訪問する生徒の一人(女子)は米国に滞在中です。毎年約80の R&E チームが韓国内で活動しており、今回、東北大を訪問するのは R&E プログラムとして外国を訪問する最初の試みとなります。日本は世界の科学先進国であり、交通の便も良いので、限られた資金の R&E にとって隣国の日本はプログラムを実施するための最適な国です。私自身は東北大学流体研と2年間、共同研究を行いました。

今回の国際交流を通して、生徒が日本の研究環境を身近に感じるとともに、国際共同研究について学ぶことを期待しています。韓国の学生に対する日本政府の留学制度があり、科学技術関係の日本の大学に留学できます。今回の訪問は生徒達に日本の研究環境を紹介する良い機会と考えています。